



傍聴席

6月議会を傍聴して

松前町商工会 理事 宮内 章行

新聞で、「大型商業施設が松前町に出店希望。地権者との間で、借地料の交渉に入った」との記事がありました。厳しい経済情勢の中、私達商工業者として誘致する業種によっては、地元の零細な商工業者は死活問題だと考えています。行政の方針は極めて重要であると考え、松前町商工会として、傍聴に行きました。

大型店の誘致に関するいくつかの質問に対して、町長は「企業より提出のあった企画書を検討して対応します。」と、当然かもしれませんが、慎重な答弁であったと思います。

松前町は近隣の市町村からみて、大型店が出店する土地は、大勢の地権者がいて、町の対応が間違えば、大変な事態になるのではないでしょう。取り越し苦労かも知れませんが、松前町は隣の市町村からみて、財源が裕福であり税金等も安く、住みやすい町と言われてきました。時代の変化、経済情勢の変化でしょうか。今年1月、校区ごとに行われた「伊予市が合併協議会からの離脱表明等の経緯の説明会」で、理事者側の説明の中で、町財政の現状は歳入が不足している為に、基金を取り崩している。非常に切迫した財政である

最近では、今春の選抜大会で済美高校が、初出場初優勝と云う快挙を達成した。上甲監督は過去に宇和島東高を初出場初優勝させている名監督である。済美高校を創立した一人に船田ミサヲさんと云う、陸軍大臣、男爵、白川義則元帥の妹さんが、「りっぱな家庭婦人を育てる」と云う建学精神を今も受けつがれていると聞いている。済美高校野球部は愛媛県の高校野球の先達として秩序ある行動に徹し夏にも頑張つて欲しい。松前町に於いても、世の為人の為に成るべく、「教育の町」としては、すかしくない社会をお互いが助け合つて構築して行きたいものである。

また3月議会では、国は地方交付税の財源の保障機能全般を見直して、縮減をする方針であり、松前町は税の増収を図るために、「優良企業の誘致に努力をして、自主財源の増収につながる政策が必要であるから、今後は企画財政課に、専門係を設けます。」との記事がありました。財源不足は、国も県も市町村も、また家庭も共通するものがあると思えます。松前町は立地条件に大変恵まれています。理事者と議会、一丸となって明るい未来を築いて欲しいものです。

町民の声

「挨拶と秩序」

永田 中村 靖郎

去る3月、小学校と中学校の卒業式に、何十年振りで出席する機会に恵まれた。小学校長先生の式辞で「挨拶」と「ありがとう」の話題があった。近年は小学生と会うと「挨拶」をする生徒が増えて来たのは、学校当局の指導のお陰と再認識した次第である。学生時代に、部活動を送った人ならば、まず最初に挨拶、礼儀をやかましく指導されたように思う。

卒業式の後のセレモニーは、在校生卒業生共に素晴らしい出来で感動した。生徒が立派にやりとげたことは指導した先生方の苦労が偲ばれた。小学校・中学校共に卒業式は整然と一糸乱れぬ出来映いで、将来もこの気持ちで進めば、全国各地で問題になっている、成人式の醜聞は無いのではないかと考えた。

私はスポーツ特に野球が大好きである。アマチュアのスポーツは、礼に始まり礼でフイーを終わる。高校野球は教育の一貫として考えている監督が多いことを実感している。愛媛県の高校野球は夏の大会で過去の勝率が全国一と聞いている。

「義務教育費国庫負担制度の堅持を求める請願書」は、町内6校のPTAから提出された緊急要請との取り扱いから趣旨採択となり、次の意見書を政府に提出しました。

請願

「地方分権のための地方税財政改革を求める請願書」「清潔で公正・公平な国民奉仕を貫く公務員制度の確立を求める請願書」は、いずれも不採択となりました。

意見書

義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書

提出先 内閣総理大臣・財務大臣
文部科学大臣・総務大臣